

平成 27 年度事業報告

社会福祉法人 シルヴァーウィング

特別養護老人ホーム みさよはうす土支田

短期入所生活介護 みさよはうす土支田

特別養護老人ホーム みさよはうす土支田

1 はじめに

みさよはうす土支田は、平成 22 年 4 月開設以来、ご利用者一人ひとりの個性を大切に、小規模施設ならではの、きめ細やかなサービスをモットーに取り組んで参りました。地域に開かれた、地域の方に愛される特別養護老人ホームとして順調に推移致しております。

このため、平成 27 年度におきましては、施設の入所率は、利用者のニーズに的確に応え、年間を通じ 100.13%（別表 7）となっています。

今年度も職員一丸となり高品質で付加価値の高い施設の運営を目指します。

2 事業実績について

特養は定員 30 名に対し、年平均入所者実人員は 28.8 人あった。27 年度の新規入所者は 10 名、退所者は 10 人で、理由は、病気入院による退所が 10 人であった（表 1）。また、平均年齢は、男性 90.2 歳 女性 87.2 歳、全体で 87.6 歳であり、要介護度の平均は、男性 4.0、女性 3.8、全体で 3.8 となっている。入所者の高齢化、重度化の傾向が見て取れる（別表 1～3）。

《表 1》特養退所者の状況

No.	性別	年齢(退所時)	退所月	退所理由
1	女	99 歳	平成 27 年 5 月	病院入院
2	男	86 歳	平成 27 年 5 月	病院入院
3	男	86 歳	平成 27 年 7 月	病院入院
4	女	89 歳	平成 27 年 8 月	病院入院
5	女	88 歳	平成 27 年 9 月	病院入院
6	女	80 歳	平成 27 年 12 月	病院入院
7	女	93 歳	平成 27 年 12 月	病院入院
8	男	96 歳	平成 28 年 1 月	病院入院
9	女	78 歳	平成 28 年 3 月	病院入院
10	女	88 歳	平成 28 年 3 月	病院入院

3 サービス内容について

(1) 食事介助

入所者の食事摂取状況に応じて、食事の見守り、食事介助を行い、誤嚥や嚥下状態の低下傾向のある入所者については、適切な食形態の検討を行い、経口摂取の維持に努めた。

また、体調等を考慮し、居室配膳や居室での喫食を実施した。

(2) 入浴介助

入所者の身体状態に合わせ、特浴、チェアー浴、一般浴の3機種の中からより安全な入浴方法を選び、週3回の入浴を実施した。

(3) 排泄介助

おむつ交換は、1日6回の定時交換のほか、随時の個別確認、及びナースコールによる要請により実施した。

(4) 栄養管理

特養入所者については、栄養ケアマネジメントを実施した。

- ①毎食後の食事摂取量の記録
- ②月1回の体重測定
- ③健康状態の把握
- ④褥瘡の状態の把握

(5) 健康管理

嘱託医による週1回の内科往診および月2回の精神科の往診があり、通院治療が必要な場合は、家族の協力等により受診し、入所者1人ひとりが、心身共に健康で充実した日常生活を送れるよう健康管理を行った。

今期も、9月に健康診断を実施。10月から11月にかけて、家族の承諾によりインフルエンザ予防接種を実施。11月は、希望者のみ肺炎球菌ワクチン接種を実施した。生活の場における保湿、室温管理、脱水予防などを徹底した。一方、職員の手洗い、マスクの着用を早期に励行し予防を徹底した。

(5) 機能訓練

①機能訓練指導員を中心に、看護師、介護職、理学療法士（非常勤）および言語聴覚士（非常勤）等が連携し、身体、嚥下、言語等の機能面において

より充実したリハビリを実施した。

②27年度から、歯科医師による口腔ケアを週1回開始した。

(6) レクリエーション

月1回の誕生会、その他、カラオケ（童謡、懐メロ）、公園への散歩、お化粧、お茶会、ボーリング、風船バレー、棒体操、ぬり絵、折り紙、映画鑑賞など、入浴日を除く毎日、職員が中心となり、実施した。

《表2》 年間行事

4月	お花見（21名参加） 白子川沿いの桜並木や清水山憩いの森のカタクリの花などを見て春を満喫された。
5月	菖蒲湯 端午の節句（こどもの日）の入浴時、菖蒲の香りでリラックスされた。
7月	七夕祭り 職員が七夕の笹飾りを作り、さらに利用者の願い事を書いた短冊も飾った。
9月	敬老会 職員手作りのカードをプレゼント。また、白寿、米寿になられた方には、練馬区からお祝いが届きました。
10月	ハロウィンパーティ 飾り付けはもちろん、ハロウィン仕様のお面や帽子を利用者と職員が被り、お菓子を食べながら盛り上がった。
12月	ゆず湯 冬至の日において入浴時、ゆずの香りを楽しんでいただいた。 クリスマス会 クリスマス音楽を流しながら、サンタクロースの衣装を着た職員とツーショットを撮ったり、楽しいお話などで盛り上がった。
1月	お正月の獅子舞 職員が自作の獅子頭を被り、獅子舞を披露。一年無病息災を祈って利用者の頭を噛むと、合掌されたりして大変喜ばれた。
2月	節分の豆まき 本物の豆は痛いので、タマゴボーロを代用して豆まきをした。鬼の面を被った職員が投げた豆を避けるのに逃げ回ったりして盛り上がった。
3月	ひな祭り 雛人形の飾り付けをして、雛あられを食べながら職員と談笑した。

《表3》 ボランティアによるレクリエーション

NO.	内容	日時	出演者等 (敬称略)	参加者数
1	江戸っっぽれ	平成28年2月13日 13:30~14:00	華組 (2人)	30人



参加者数は、入所者および、そのご家族

《江戸っっぽれ》

4 家族等との連絡調整等

(1) 家族との個別懇談

平成28年3月 計9家族

(2) その他

ご面会者数 のべ3,165人 (1日平均8.6人)

5 各種委員会等

下表の委員会等を定期的に行き、利用者のケア等について検討した。

《表4》

委員会名	内 容
①栄養委員会	利用者の栄養ケアに関すること
②感染症対策委員会	施設内外の環境衛生、感染症の予防等に関すること
③褥瘡対策委員会	褥瘡の予防、処置等に関すること
④身体拘束廃止委員会	利用者の身体拘束に関する基準、説明と同意に関すること
⑤事故防止委員会	利用者等にかかる事故の防止に関すること
⑥防災・安全対策委員会	災害防止及び災害時の対応等に関すること
⑦リハビリ委員会	個別機能訓練等の検討等に関すること
⑧レクリエーション委員会	利用者のレクリエーションの計画・実施等に関すること

⑨ボランティア活用推進委員会	ボランティアの活用、登録等に関すること
⑩入所検討委員会	入所者の選定に関すること
⑪職員会議	施設全般の運営・管理等に関すること、情報伝達等
⑫安全衛生委員会	職員の労働環境、健康管理の確保等
⑬研修委員会	全職員の知識・技術の向上等のための研修に関すること

6 職員研修

年間を通じて、練馬介護人材育成・研修センター(練馬区社会福祉事業団)が開催する研修に積極的に参加した。

また、集合研修がしにくいシフト制職場というデメリットを補うため、同一内容を時間差で実施したり、DVDを活用する等の工夫を行った。

《表5》

No.	名称	開催日	人数	備考
1	施設サービスのリスクマネジメント	平成27年5月11日	2名	主催:練馬介護人材育成・研修センター
2	前向きな物事の捉え方	平成27年6月5日	2名	主催:練馬介護人材育成・研修センター
3	事例から学ぶ施設サービス:通所サービスのクレーム対応	平成27年10月5日	2名	主催:練馬介護人材育成・研修センター
4	より良い関係づくり	平成27年11月9日	2名	主催:練馬介護人材育成・研修センター
5	現場リーダーのための再発防止策の手法	平成28年1月18日	2名	主催:練馬介護人材育成・研修センター
6	施設サービスにおける介護現場の記録	平成28年2月10日	2名	主催:練馬介護人材育成・研修センター
7	事故防止研修	平成27年12月14日	7名	職場内研修
8	身体拘束研修	平成28年3月14日	15名	職場内研修
9	医療的ケア研修	4/12, 4/26, 5/10, 5/24, 6/7, 6/21(28年度継続)	3名	法人研修

10	心身の仕組みを活かした介護技術の基本研修	4/22, 4/24, 5/13, 6/3, 5/15, 6/5, 7/1, 7/3	2名	法人研修
11	感染症対策指導者養成研修	平成27年11月11日	1名	福祉保健局

7 ボランティアの受入れ

平成25年度に制定した「ボランティア活用推進要綱」に沿って、ボランティアの利用を図っている。平成27年度は、練馬区の平成26年度施設介護サポーター養成研修を修了した方1名を、食事介助のボランティアとして、週1回来て頂いた。

8 実習生の受け入れ

平成25年度に制定した「介護実習生等受け入れ要綱」に沿って、実習生の受け入れを図っている。平成27年度は、小学校および中学校教諭の教員免許状の取得を希望する学生を、介護等体験の実習生として、8名を受け入れた。

9 インターンシップの受け入れ

介護業界、介護機器および福祉政策などに関心があり、自分なりの目的を持って主体的にプログラムに参加し、成長したいと考えている大学等の学生を受け入れている。平成27年度は、2名の大学生を受け入れた。

10 介護ロボットの導入

以下の介護ロボットを導入し、利用者の事故防止と介護労働の負担軽減に役立てた。

① 立位補助器サラステディ（立位を補助し移乗に活用）

平成27年9月 1台 導入

② 立位補助器サラライト（専用サポートベルトを装着して立位を補助し、移乗に活用）

平成27年9月 1台 導入

③ 免荷式リフトPOPO（転倒するリスクを軽減し、安心して歩行訓練に取り組む）

平成28年3月 1台 導入



《立位補助器サラステディ》



《免荷式リフト POPO》



《免荷式リフト POPO》

短期入所生活介護 みさよはうす土支田

1 はじめに

ショートステイは定員 2 名であるが、特養入所者の入院等による空室利用により、年間利用者数は、男性 55 名、女性 89 名、合計 144 名で、前年度比 54 名減であった（別表 5）。これは、ショートステイを長期に利用された方と繰り返し利用される方が、増えたことによる。

ショートステイ利用者の平均年齢は、男性 83.2 歳、女性 87.8 歳、全体 86.0 歳だった（別表 4）。また、要介護度の平均は、男性 4.1、女性 3.5、全体 3.5 だった（別表 6）。ショートステイの稼働率については、特養利用者が、疾病により入院した場合、その部屋をショートステイ利用希望者に活用していただくよう居宅介護支援事業所へ積極的に情報提供し、コミュニケーションを図り、空室を作らないよう有効活用を心掛けている。

特養・ショート合計の年間利用率は、100.13%だった（別表 7～8）。

2 サービスの実施状況

(1) 事前面接調査と情報の共有

短期入所でも、その期間は快適な施設生活を送って頂くようにするため、医療処置の有無、日常生活の介護の方法、ご家族の要望等を事前面接で聞き取り、職員間の情報共有を図り、対応した。

(2) 施設までの送迎

ドア・ツウ・ドアの送迎サービスを行った。

(3) その他

①入浴は、（月）（水）（金）の週 3 回実施。

②ショートステイ利用者について、27 年度から機能訓練指導員による個別機能訓練を実施した。

③その他施設内のサービスは特養の利用者と同様とした。

(別表1)

<年度末平均年齢>

性別	人数	平均年齢	年齢分布
男	2名	90.2	86～92
女	28名	87.2	78～99
(全体)	30名	87.6	78～99

(別表2)

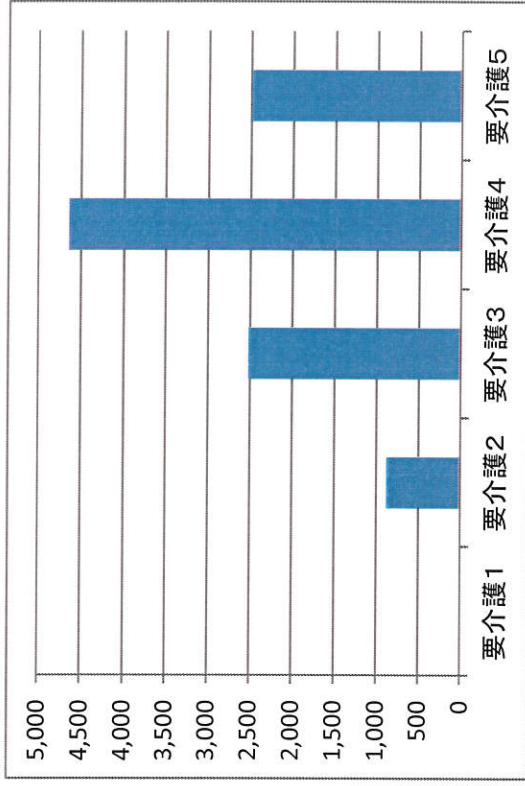
<月別利用者の状況>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	60	62	60	62	62	60	49	90	93	93	87	93	871
要介護3	180	186	180	168	173	255	279	240	232	228	203	190	2,514
要介護4	390	388	390	403	403	360	372	360	377	364	394	446	4,647
要介護5	258	254	240	239	217	198	200	210	201	155	145	175	2,492
計	888	890	870	872	855	873	900	900	903	840	829	904	10,524
要介護平均	4.0	4.0	3.9	3.9	3.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.7	3.7	3.8	3.8
実人員	30	30	29	29	28	30	30	30	30	29	29	30	354
延べ定員数	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	870	930	10,980
1日平均利用者数	29.6	28.7	29.0	28.1	27.6	29.1	29.0	30.0	29.1	27.1	28.6	29.2	28.8
稼働率	98.67%	95.70%	96.67%	93.76%	91.94%	97.00%	96.77%	100.00%	97.10%	90.32%	95.29%	97.20%	95.85%

特養（定員30名）

(注) 本表では、在籍日数により算出しています。

(別表3)



(別表4)

〈年度末平均年齢〉

性別	人数	平均年齢	年齢分布
男	3	83.2	80～93
女	4	87.8	85～90
(全体)	7	86.0	80～93

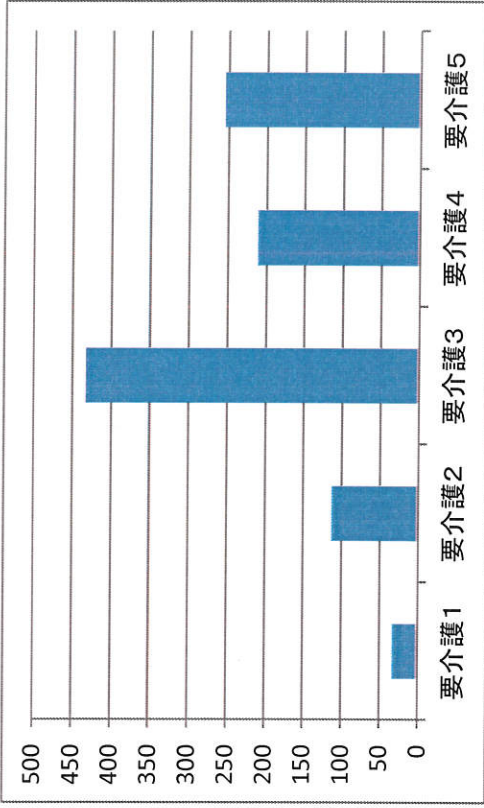
(別表5)

〈月別利用者の状況〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
シヨートステイ（介護予防含む）（定員2名）													
要支援1													
要支援2													
要介護1	0	2	0	2	4	0	0	0	4	18	2	0	32
要介護2	0	0	7	31	27	15	11	3	6	9	2	1	112
要介護3	31	20	27	16	54	38	43	32	34	55	43	41	434
要介護4	16	27	15	46	15	11	11	12	8	26	24	0	211
要介護5	14	12	25	10	12	22	19	13	30	34	22	42	255
計	61	61	74	105	112	86	84	60	82	142	93	84	1,044
要介護平均	4.0	3.5	3.6	3.3	3.3	3.5	3.5	3.5	3.1	3.1	3.5	3.8	3.5
実人員	12	11	9	14	16	15	14	11	12	13	10	7	144
延べ定員数	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	58	62	732
1日平均利用者数	2.0	2.0	2.5	3.4	3.6	2.9	2.7	2.0	2.6	4.6	3.2	2.7	2.9
稼働率	101.67%	98.39%	123.33%	169.35%	180.65%	143.33%	135.48%	100.00%	132.26%	229.03%	160.34%	135.48%	142.62%

(注)本表では、退所日は日数には含んでいません。

(別表6)



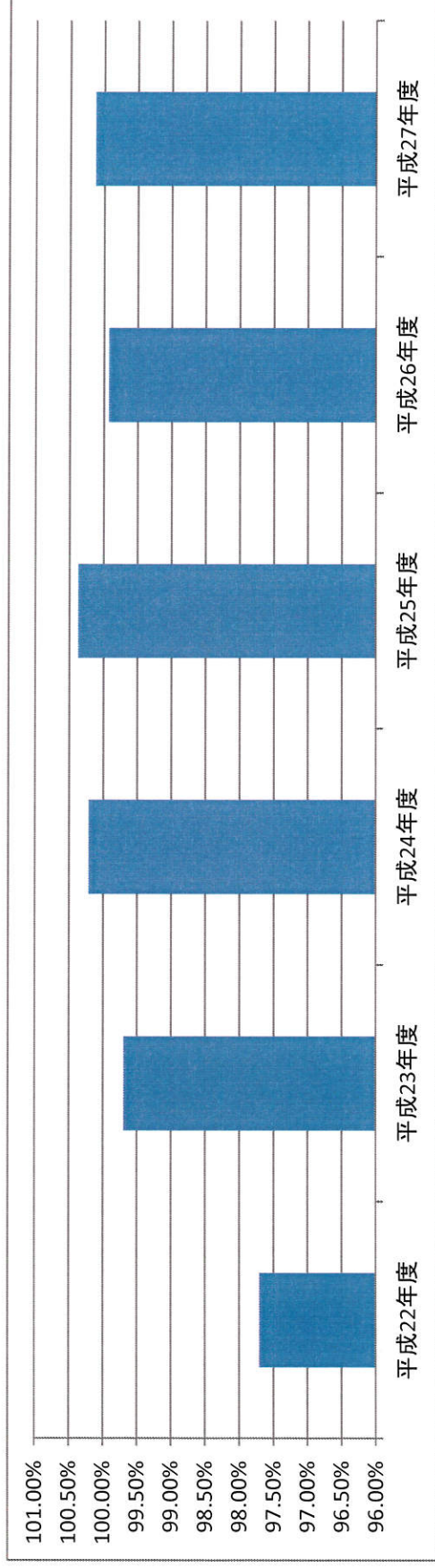
(別表7)

〈月別稼働率〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養 ・ショート(定員32名)	888	891	870	872	856	874	900	900	906	841	829	905	10532
ショートステイ	72	74	84	118	129	100	100	71	93	155	105	93	1194
計	960	965	954	990	985	974	1000	971	999	996	934	998	11726
延べ定員数	960	992	960	992	992	960	992	960	992	992	928	992	11712
稼働率	100.00%	97.28%	99.38%	99.80%	99.29%	101.46%	100.81%	101.15%	100.71%	100.40%	100.65%	100.60%	100.13%

(注) 本表では、実利用日数で算出しています。

(別表8)



稼働率	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	97.71%	99.70%	100.21%	100.37%	99.93%	100.13%